

## 【施策01】 地域コミュニティ

～みんなの支えあいで地域が元気なまち～

- ◆展開方向01：多様な主体が参画し連携する、地域分権型社会づくりに取り組みます。
- ◆展開方向02：地域活動の促進により、安全・安心で魅力的な地域社会の形成に取り組みます。

展開方向01	1 地域資源情報公開システム事業費	9
	2 中央地区特色ある地域活動推進事業費	10
	3 小田地区特色ある地域活動推進事業費	11
	4 大庄地区特色ある地域活動推進事業費	12
	5 立花地区特色ある地域活動推進事業費	13
	6 武庫地区特色ある地域活動推進事業費	14
	7 園田地区特色ある地域活動推進事業費	15
展開方向02	8 コミュニティ助成事業費	16
	9 車座集会事業費	17
	10 市民提案制度関係事業費	18
	11 市民運動推進事業費	19
	12 市民活動情報発信事業費	20
	13 あまがさきチャレンジまちづくり事業費	21
	14 尼崎市社会福祉協議会補助金	22
	15 特定非営利活動促進事業費	23
	16 みんなの尼崎大学事業費	24

# 令和3年度事務事業シート(令和2年度決算)

事務事業名	地域資源情報公開システム事業費	1E22	施策	01 地域コミュニティ
根拠法令	—		展開方向	01-1 多様な主体が参画し連携する、地域分権型社会づくりに取り組みます。
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 令和2年度	行政の取組	01-1 地域分権型社会に向けた取組
会計	01 一般会計			
款	10 総務費			
項	05 総務管理費			
目	61 市民活動推進費			
局	総合政策局	課	協働推進課	所属長名 西田 真弓

## ①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	地域の交流や集いの場、相談窓口、コミュニティ拠点施設等の地域資源情報を、分野やエリアごとに検索できるシステムを運用することにより、市民サービスの向上を図るとともに、市・尼崎市社会福祉協議会(市社協)・地域活動の担い手など各主体間における情報共有を推進する。
事業概要	福祉、社会教育関係等の地域資源の情報を公開し、エリアごとに検索できるシステムを運用する。
実施内容	<p>○地域情報共有サイト「あましえあ」の運用</p> <p>1 サイト概要</p> <p>一般公開サイトと関係者専用サイトが連動しており、公営・民営を問わず、地域の交流や集いの場、相談窓口、コミュニティ拠点施設、市民活動団体等の幅広い地域資源情報を掲載する。地域資源を一元的に把握することや、地図上に落とし込むことによる地域資源の可視化を図るものである。</p> <p>また関係者専用サイトでは、関係者(市、市社協、一部の地域活動の担い手)が、非公開の地域情報や活動記録を取り扱うことで、関係者間の情報共有を推進する。</p> <p>2 実施内容</p> <p>サイトの運営管理及び関係者による地域資源情報のメンテナンス(登録・更新・削除)の補助等を行う。</p>

## ②事業成果の点検

目標指標	—(適切な成果指標及び活動指標の設定は困難)							単位	—		
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	平成30年度	—	令和元年度	—	令和2年度	—
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: —)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の交流や集いの場、相談窓口、コミュニティ拠点施設、市民活動団体等の幅広い地域資源情報を、分野やエリアごとに検索できるシステム(地域情報共有サイト「あましえあ」)を導入した。</li> <li>「新しい生活様式」の下で安全で効率的な情報収集の新たな手段となるよう、また、閲覧者に掲載情報が正しく伝わるよう、サイトを適切に運営管理していく必要がある。</li> </ul> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 改善)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関係者の地域資源情報の登録等をサポートし、サイトの充実を図っていくとともに、サイトの適切な運営管理について、関係者と協議しながら進めていく。</li> <li>関係者間の情報共有が容易に、また活発に行われるよう、活動記録などの機能の活用を推進する。</li> </ul>										

## ③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	(参考)令和3年度予算	備考
事業費 A	0	8,690	4,950	
委託料		8,690	4,950	システム運用保守業務委託
人件費 B	0	0	2,162	
職員人工数			0.28	新型コロナウイルス感染症対応関連
職員人件費			2,162	
嘱託等人件費				
合計 C(A+B)	0	8,690	7,112	
Cの財源内訳				
国庫・県支出金		8,690		新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(国10/10)
市債				
その他				
一般財源			7,112	

# 令和3年度事務事業シート(令和2年度決算)

事務事業名	中央地区特色ある地域活動推進事業費	1E2K	施策	01 地域コミュニティ	
根拠法令	—		展開方向	01-1 多様な主体が参画し連携する、地域分権型社会づくりに取り組みます。	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 平成9年度			
会計	01 一般会計		行政の取組	01-1 地域分権型社会に向けた取組	
款	10 総務費				
項	05 総務管理費				
目	61 市民活動推進費				
局	総合政策局	課	中央地域課	所属長名	北 明徳

## ①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	地域に愛着を持ち、人々が憩い、楽しみ、学ぶことができる地域にするため、多様な主体と協働で取り組むことにより、地域特性を活かしたまちづくりを目指す。また、地域課題解決のため、身近な地域における市民、事業所、行政のネットワークを広げることで、将来的に学びと活動が循環し、地域発意の課題解決や魅力向上の取組が広がる環境づくりを目指す。
事業概要	地域資源等を活かした市民との協働の取組、顔の見える関係づくりに取り組む。地域で活動されている方々との関係づくりとともに、地域においてお互いの顔の見える関係を築いていくための学びや交流の場づくりに取り組むにあり、「地域予算」を柔軟に活用していく。
実施内容	<p>○阪神尼あんしんまちづくり事業</p> <p>1 迷惑駐輪・不法駐車対策、中央地区防犯パトロール(実施回数:延べ16回) ※感染拡大防止の観点から職員のみで実施</p> <p>2 不法広告物の一斉取締り・除却・啓発活動、阪神尼崎駅周辺地区マナー改善啓発推進キャンペーン、中央地区一斉防犯パトロール ※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止</p> <p>○城下町(中央地区)地域愛醸成事業</p> <p>1 広報紙「中央ぶらぶら通信」の発行:4回、SNS版「中央ぶらぶら通信」の配信 Instagram・Facebook:各123回</p> <p>2 詐欺対策通帳ケースの製作(尼崎信用金庫窓口で配布)</p> <p>3 サンシビックまつりの開催(共催事業) ※感染拡大防止の観点から中止</p> <p>○地域予算事業</p> <p>1 福祉会館の利用促進に向けたPRリーフレット(6館分)の作成及び生涯学習プラザでのPR</p> <p>2 こどもの居場所確保に向けた「たけやキッズぱーく」の実施(2回、延べ25人) ※令和3年2月より、毎月1回開催</p> <p>3 各種団体間の連携強化に向けた協議体「竹谷小学校区いどばたかいぎ」の立上げ(1回、16人)</p>

## ②事業成果の点検

目標指標	イベント等の参加者数(適切な成果指標及びその目標設定が困難なため、活動指標の実績値のみを表記)				単位	人				
目標・実績	目標値	—	達成年度	— 年度	平成30年度	1,494	令和元年度	4,355	令和2年度	41
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: — )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域予算を活用し、公共施設の無い小学校区におけるこどもの居場所の設置や、校区内の活動団体をつなぐ協議体の設置を試行的に実施した。</li> <li>・感染拡大防止の観点からサンシビックまつりや一斉防犯パトロールなどの各種活動が中止となったため、これまでの継続事業が前年度と比べ大幅な参加者数の減となった。</li> </ul> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染拡大防止の観点から各種事業を中止したことが取組縮小にならないよう留意しながら、コロナ禍における必要に応じた改善を行い各種事業を再開していく。</li> <li>・試行的に実施している各種団体間の連携強化に向けた協議体「竹谷小学校区いどばたかいぎ」などの好事例を他小学校区にも拡大していく。</li> <li>・地域との関係性が深められてきたことで創出された各地域の特徴ある取組がまとめられた事例集を用いるなど、庁内及び地域住民と好事例の共有を図り、活用していく。</li> </ul>									

## ③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	(参考)令和3年度予算	備考
事業費 A	858	627	0	
報償費	120	62		ファシリテーター等謝礼
需用費	738	451		印刷製本費等
使用料及び賃借料		114		ソフトウェア使用料、会場使用料
役務費				
その他				
人件費 B	23,760	29,004	0	令和3年度から中央地区学びと活動推進事業費へ移管
職員人工数	2.76	3.73		
職員人件費	21,616	27,909		
嘱託等人件費	2,144	1,095		
合計 C(A+B)	24,618	29,631	0	
Cの財源内訳				
国庫・県支出金				
市債				
その他	250	35		市民福祉振興基金
一般財源	24,368	29,596		

# 令和3年度事務事業シート(令和2年度決算)

事務事業名	小田地区特色ある地域活動推進事業費 1E2L	施策	01 地域コミュニティ
根拠法令	—	展開方向	01-1 多様な主体が参画し連携する、地域分権型社会づくりに取り組みます。
事業分類	ソフト事業 事業開始年度 平成9年度	行政の取組	01-1 地域分権型社会に向けた取組
会計	01 一般会計		
款	10 総務費		
項	05 総務管理費		
目	61 市民活動推進費		
局	総合政策局	課	小田地域課
		所属長名	仁尾 克己

## ①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	地域に愛着を持ち、人々が憩い、楽しみ、学ぶことができる地域にするため、多様な主体と協働で取り組むことにより、地域特性を活かしたまちづくりを目指す。また、地域課題解決のため、身近な地域における市民、事業所、行政のネットワークを広げることで、将来的に学びと活動が循環し、地域発意の課題解決や魅力向上の取組が広がる環境づくりを目指す。
事業概要	地域資源等を活かした市民との協働の取組、顔の見える関係づくりに取り組む。地域で活動されている方々との関係づくりとともに、地域においてお互いの顔の見える関係を築いていくための学びや交流の場づくりに取り組むにあたり、「地域予算」を柔軟に活用していく。
実施内容	<p>&lt;令和2年度実績&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域情報誌発行事業 地域活動情報誌「小田がまち瓦版」を発行し、地域に回覧した。発行回数10回 発行枚数のべ26,000枚</li> <li>○地域予算事業 ・潮江子育て学級 子育てに関する悩みを抱える世帯の増加が地域での課題となっているJR尼崎駅北側の地域で、子育て支援を続けている団体と共催し、貸室の提供や講師謝礼の負担等の支援を実施した。実施回数16回 参加者数のべ396人</li> <li>・中川地下道における自転車通行ルールの徹底に関する取組 JR尼崎駅直下を南北に結ぶ中川地下道は、自転車の通行マナーが悪い場所としてテレビで放映されたこともあるような、地域の課題箇所であり、地域・学校・行政の3者協働により、「自転車に乗ったままの通行はルール(道交法)違反！」ということを徹底するための様々な取組を行い、その成果を検証するための交通量調査を実施した。</li> </ul>

## ②事業成果の点検

目標指標	イベント等の参加者数(適切な成果指標及びその目標設定が困難なため、活動指標の実績値のみを表記)							単位	人		
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	平成30年度	236	令和元年度	332	令和2年度	396
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: —)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・潮江子育て学級は、新型コロナウイルスの影響により実施方法(3密の防止など)に関して大きな制約が生じたが、子育て支援という地域課題の解決に向け当課との連携により、地域課題の解決に自ら取り組む団体の活動の継続に寄与するとともに、地域振興センターとして地域への支援方法のノウハウを吸収することができた。</li> <li>・中川地下道交通量調査の結果は、通勤・通学時間帯の自転車降車率が約84%、その他の時間帯も含めた自転車降車率も約50%であり、それぞれ約9%、約4%であった前回調査(H31年1月)時より大幅に改善したことから、地域・学校・行政の3者協働で行った様々な取組が大きな成果につながった。</li> </ul> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・潮江子育て学級は、子の就学をきっかけに支援される側(受講者)から支援する側(保育ボランティア)となる参加者が存在するなど、「次世代の担い手づくり」や「学びと活動の循環」が活動の中で実践されていることから、今後も支援を行い、地域活動の促進につなげる。</li> <li>・中川地下道の取組では、交通量調査結果を道路管理者等とも共有し、車止めの撤去を成果向上のインセンティブとすること等ハード的な対策も含めながら、継続した取組を行う。</li> <li>・地域との関係性が深められてきたことで創出された各地域の特徴ある取組がまとめられた事例集を用いるなど、庁内及び地域住民と好事例の共有を図り、活用していく。</li> </ul>										

## ③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	(参考)令和3年度予算	備考
事業費 A	593	574	0	
報償費	40	37		講師謝礼
需用費	534	75		各種事業消耗品等
委託料		462		中川地下道交通量調査業務委託
使用料及び賃借料	19			会場使用料
その他				
人件費 B	24,190	27,594	0	令和3年度から小田地区学びと活動推進事業費へ移管
職員人工数	4.07	4.46		
職員人件費	21,730	24,923		
嘱託等人件費	2,460	2,671		
合計 C(A+B)	24,783	28,168	0	
Cの財源内訳				
国庫・県支出金				
市債				
その他	250	250		市民福祉振興基金
一般財源	24,533	27,918		

# 令和3年度事務事業シート(令和2年度決算)

事務事業名	大庄地区特色ある地域活動推進事業費	1E2M	施策	01 地域コミュニティ	
根拠法令	—		展開方向	01-1 多様な主体が参画し連携する、地域分権型社会づくりに取り組みます。	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度			令和元年度
会計	01 一般会計		行政の取組	01-1 地域分権型社会に向けた取組	
款	10 総務費				
項	05 総務管理費				
目	61 市民活動推進費				
局	総合政策局	課	大庄地域課	所属長名	鳥生 浩二

## ①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	地域に愛着を持ち、人々が憩い、楽しみ、学ぶことができる地域にするため、多様な主体と協働で取り組むことにより、地域特性を活かしたまちづくりを目指す。また、地域課題解決のため、身近な地域における市民、事業所、行政のネットワークを広げることで、将来的に学びと活動が循環し、地域発意の課題解決や魅力向上の取組が広がる環境づくりを目指す。
事業概要	地域資源等を活かした市民との協働の取組、顔の見える関係づくりに取り組む。地域で活動されている方々との関係づくりとともに、地域においてお互いの顔の見える関係を築いていくための学びや交流の場づくりに取り組むにあたり、「地域予算」を柔軟に活用していく。
実施内容	<p>【大庄《未来につなぐ》まちづくりワークショップ】</p> <p>令和元年度に引き続き、地域のまちづくりの課題に対し、広く地域の意見を募ることができる協働の仕組みとして、市で選出した地域住民と、地域の在住在勤要件を付した公募市民が参加するまちづくりワークショップを公園部会等の2回を含め、計9回(令和元年度中に1回)開催し、延べ99人の参加があった。</p>

## ②事業成果の点検

目標指標	イベント等の参加者数(適切な成果指標及び目標設定が困難なため、活動指標の実績値のみを表記)							単位	人		
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	平成30年度	—	令和元年度	12	令和2年度	99
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: —)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧大庄西中学校跡地活用について、多様な地域住民が参画するまちづくりワークショップを開催し、地域の意見を取りまとめた。</li> </ul> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大庄《未来につなぐ》ワークショップで取りまとめた意見をもとに、地域の熱意のある人々とともに協働型公園及びコミュニティスペースの管理運営のルールづくりを進めるため、協議の場の設置に向けた取組を進める。</li> <li>・地域との関係性が深められてきたことで創出された各地域の特徴ある取組がまとめられた事例集を用いるなど、庁内及び地域住民と好事例の共有を図り、活用していく。</li> </ul>										

## ③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	(参考)令和3年度予算	備考
事業費 A	261	222	0	
報償費	24	178		まちづくりワークショップ報償費
需用費	237	3		事業用消耗品
使用料及び賃借料		41		会場使用料
役務費				
その他				令和3年度から大庄地区学びと活動推進事業費へ移管
人件費 B	9,555	31,043	0	
職員人工数	0.40	3.92		
職員人件費	2,716	26,404		
嘱託等人件費	6,839	4,639		
合計 C(A+B)	9,816	31,265	0	
Cの財源内訳				
国庫・県支出金				
市債				
その他	200	221		市民福祉振興基金
一般財源	9,616	31,044		

# 令和3年度事務事業シート(令和2年度決算)

事務事業名	立花地区特色ある地域活動推進事業費	1E2N	施策	01 地域コミュニティ	
根拠法令	—		展開方向	01-1 多様な主体が参画し連携する、地域分権型社会づくりに取り組みます。	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度			平成25年度
会計	01 一般会計		行政の取組	01-1 地域分権型社会に向けた取組	
款	10 総務費				
項	05 総務管理費				
目	61 市民活動推進費				
局	総合政策局	課	立花地域課	所属長名	奥平 裕久

## ①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	地域に愛着を持ち、人々が憩い、楽しみ、学ぶことができる地域にするため、多様な主体と協働で取り組むことにより、地域特性を活かしたまちづくりを目指す。また、地域課題解決のため、身近な地域における市民、事業所、行政のネットワークを広げることで、将来的に学びと活動が循環し、地域発意の課題解決や魅力向上の取組が広がる環境づくりを目指す。
事業概要	地域資源等を活かした市民との協働の取組、顔の見える関係づくりに取り組む。地域で活動されている方々との関係づくりとともに、地域においてお互いの顔の見える関係を築いていくための学びや交流の場づくりに取り組むにあり、「地域予算」を柔軟に活用していく。
実施内容	令和2年度実績 【ウェルカムパーティ事業】 ・たちばなウェルカムスタンプラリー 実施回数 1回 参加人数 延べ1,485人(参加施設12か所、実施イベント14件) ・おやこ食農体験ツアー 新型コロナウイルス感染症対策のため中止 【地域予算事業】 ・シン・プラザ会議 実施回数 3回 参加人数 46人 ※Zoomで開催 ・立花かいわい会 実施回数 6回 参加人数 90人、黒板づくり 延べ22人 ・会議ファシリテーション講座 実施回数 4回 参加人数 延べ 64人 ・ビバ！たちばなのマナビバ！ 感染症対策のため中止 ・立花地域で活動されているみなさんで交流会 感染症対策のため中止

## ②事業成果の点検

目標指標	イベント等の参加者数(適切な成果指標及びその目標設定が困難なため、活動指標の実績値のみを表記)							単位	人		
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	平成30年度	676	令和元年度	643	令和2年度	1,707
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: —)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度から配置された地域担当職員は、それぞれの担当校区において顔の見える関係を築きつつある。</li> <li>令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、対面での交流が制限されたが、新型コロナウイルス感染症への対応などの際に地域の情報収集を行ったり、コロナ禍でのトライやるウィークの取組で中学校と協働するなど、関係を強化・継続できるよう努めてきた。</li> <li>新複合施設の設計や使い方を考える「シン・プラザ会議」から地域活動について話し合えるプラットフォーム「立花かいわい会」へと転換し、地域の課題解決に向けた活動も生まれた。</li> <li>地域活動団体を支えている人々の高齢化が課題である。</li> </ul> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域活動になじみの薄い世代や関わるきっかけがない方々が地域活動に関心を持つきっかけを作り、地域活動に関わる住民のすそ野を広げていく。</li> <li>地域担当職員が様々な地域活動や団体、人を知る中で、地縁、志縁に関わらず、活動する方々の間を必要に応じてつなぎ、ゆるやかなネットワークを築いていく。</li> <li>生涯学習推進事業と一体的に取り組むことで、学びから地域活動へ、地域活動から学びへとつなげていく。</li> <li>地域との関係性が深められてきたことで創出された各地域の特徴ある取組がまとめられた事例集を用いるなど、庁内及び地域住民と好事例の共有を図り、活用していく。</li> </ul>										

## ③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	(参考)令和3年度予算	備考
事業費 A	378	389	0	
報償費	90	250		講師謝礼
需用費	283	138		事業用消耗品等
役務費	4	1		保険料
旅費	1			
その他				令和3年度から立花地区学びと活動推進事業費へ移管
人件費 B	25,406	20,246	0	
職員人工数	3.40	2.59		
職員人件費	24,773	19,590		
嘱託等人件費	633	656		
合計 C(A+B)	25,784	20,635	0	
Cの財源内訳				
国庫・県支出金				
市債				
その他	250	250		市民福祉振興基金
一般財源	25,534	20,385		

# 令和3年度事務事業シート(令和2年度決算)

事務事業名	武庫地区特色ある地域活動推進事業費	1E20	施策	01 地域コミュニティ	
根拠法令	—		展開方向	01-1 多様な主体が参画し連携する、地域分権型社会づくりに取り組みます。	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度			平成9年度
会計	01 一般会計		行政の取組	01-1 地域分権型社会に向けた取組	
款	10 総務費				
項	05 総務管理費				
目	61 市民活動推進費				
局	総合政策局	課	武庫地域課	所属長名	富田 聡一郎

## ①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	地域に愛着を持ち、人々が憩い、楽しみ、学ぶことができる地域にするため、多様な主体と協働で取り組むことにより、地域特性を活かしたまちづくりを目指す。また、地域課題解決のため、身近な地域における市民、事業所、行政のネットワークを広げることで、将来的に学びと活動が循環し、地域発意の課題解決や魅力向上の取組が広がる環境づくりを目指す。
事業概要	地域資源等を活かした市民との協働の取組、顔の見える関係づくりに取り組む。地域で活動されている方々との関係づくりとともに、地域においてお互いの顔の見える関係を築いていくための学びや交流の場づくりに取り組むにあたり、「地域予算」を柔軟に活用していく。
実施内容	<p>○清流にこころふれあう道づくり(武庫小学校と武庫中学校の間の公共空間の整備)事業</p> <p>1 武庫小学校との連携(ホテルの住む環境づくり 3年生の環境学習) 実施回数4回 参加人数444人</p> <p>2 拠点整備、水路清掃、花壇植栽等 実施回数35回 参加人数146人</p> <p>3 打ち水や花見、月見、七夕など公共空間を使った各種イベントの実施 実施回数4回 参加人数80人</p> <p>○ウェルカムパーティー事業</p> <p>1 あつまれ! パパ男子(救急法講座など)パパの育児参加のための体験講座) 実施回数2回 参加人数48人</p> <p>2 ウェルカムノート1日限定無料配布 28人 3 マタニティセミナーin武庫 5人</p> <p>○地域予算事業</p> <p>生涯学習プラザの愛称を公募するにあたり、愛称を公募するだけでなく、地域の魅力を再発見し、市民同士のつながりを生み出すことを目的として、市民参加型のワークショップを3回連続で実施し延べ79人の参加があった。</p>

## ②事業成果の点検

目標指標	イベント等の参加者数(適切な成果指標及びその目標設定が困難なため、活動指標の実績値のみを表記)							単位	人		
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	平成30年度	1,550	令和元年度	1,619	令和2年度	830
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: —)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>清流にこころふれあう道づくり事業では、取組により世代間の交流や人と自然とのふれあいにつながっている。</li> <li>ウェルカムパーティー事業は、「転出入が多く、地域活動を知らない人も多い」という地域の課題解決に向け、「子育て」をキーワードに幅広い世代が集まる交流の場となっている。</li> <li>上記2事業は新型コロナウイルス感染対策により、参加者数等を制限して行ったため参加者数が減少した。</li> <li>地域予算事業では、ワークショップ後に武庫東西生涯学習プラザの愛称を公募し653案の応募があった。市民活動団体の代表者等による選考委員会にて6案に絞り、地区内5カ所の施設や6小学校、Instagram(インスタグラム)で投票を行い、1,681票の投票があった。(愛称はおひさまプラザ(武庫東)、ゆうやけプラザ(武庫西)に決定)</li> <li>誰でも参加できる情報交換・交流の場として「mukoキャンパス みんなのホームルーム」を10月から月1回実施した。</li> </ul> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>活動団体の担い手が固定化し徐々に高齢化しているため、新たな担い手の育成が必要である。</li> <li>引き続き、地域の活動団体と職員が地域特性や課題に合わせて、講座や事業を共に考え共に実施する。</li> <li>地域予算事業では、今後より幅広い市民に愛着をもってもらうために、決定した愛称のお披露目をかねて、事業等実施が必要である。また、プラザ愛称の投票用に開設したInstagramを引き続き活用し、地域情報を発信していく。</li> <li>地域との関係性が深められてきたことで創出された各地域の特徴ある取組がまとめられた事例集を用いるなど、庁内及び地域住民と好事例の共有を図り、活用していく。</li> </ul>										

## ③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	(参考)令和3年度予算	備考
事業費 A	913	789	0	
報償費	40	12		講師謝礼
需用費	81	29		消耗品
委託料	792	748		清流にこころふれあう道づくり事業等
使用料及び賃借料				
その他				令和3年度から武庫地区学びと活動推進事業費へ移管
人件費 B	4,464	8,444	0	
職員人工数	0.57	1.05		
職員人件費	4,464	8,162		
嘱託等人件費		282		
合計 C(A+B)	5,377	9,233	0	
Cの財源内訳				
国庫・県支出金				
市債				
その他	300	250		市民福祉振興基金
一般財源	5,077	8,983		

# 令和3年度事務事業シート(令和2年度決算)

事務事業名	園田地区特色ある地域活動推進事業費	1E2P	施策	01 地域コミュニティ	
根拠法令	—		展開方向	01-1 多様な主体が参画し連携する、地域分権型社会づくりに取り組みます。	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 平成9年度			
会計	01 一般会計		行政の取組	01-1 地域分権型社会に向けた取組	
款	10 総務費				
項	05 総務管理費				
目	61 市民活動推進費				
局	総合政策局	課	園田地域課	所属長名	松原 裕二

## ①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	地域に愛着を持ち、人々が憩い、楽しみ、学ぶことができる地域にするため、多様な主体と協働で取り組むことにより、地域特性を活かしたまちづくりを目指す。また、地域課題解決のため、身近な地域における市民、事業所、行政のネットワークを広げることで、将来的に学びと活動が循環し、地域発意の課題解決や魅力向上の取組が広がる環境づくりを目指す。
事業概要	地域資源等を活かした市民との協働の取組、顔の見える関係づくりに取り組む。地域で活動されている方々との関係づくりとともに、地域においてお互いの顔の見える関係を築いていくための学びや交流の場づくりに取り組むにあたり、「地域予算」を柔軟に活用していく。
実施内容	<p>○自然と文化の森プラットフォーム事業等</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>公開型意見交換の場「プラットフォーム」の開催 令和2年度実績6回、参加者数59人 →新型コロナウイルスに係る緊急事態宣言等で予定の半分が中止</li> <li>自然と文化の森協会の事業(農作業体験等)実施に係る支援⇒令和2年度実績40回、参加者数890人</li> </ol> <p>○ウェルカムパーティ事業(園田) 令和2年度実績(ママカフェ)全6回、参加者数24人、(ウェルカムブック編集委員会)休止、ウェルカムブックをホームページで公表、(そのっ子フェスティバル)中止</p> <p>○地域予算事業</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>「地域学校協働活動推進員活動紹介誌」の発行 100部</li> <li>「新園田東生涯学習プラザ」の広報用ポスター作成(バス広告用) 90部</li> <li>「新園田東生涯学習プラザ」の広報用マグネットシート作成 10部</li> <li>「園田小学校区自転車講習会」実施回数 1回、参加者数74人 ※いずれも地域発意により地域と協議、実施</li> </ol>

## ②事業成果の点検

目標指標	イベント等の参加者数(適切な成果指標及びその目標設定が困難なため、活動指標の実績値のみを表記)							単位	人		
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	平成30年度	4,429	令和元年度	4,511	令和2年度	1,047
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: —)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プラットフォームについては、参加者の固定化等から、今後について自然と文化の森協会と協議を始めた。</li> <li>子育て世帯に配布するウェルカムブックは、例年は紙冊子での配布であったが、より多くの家庭に情報を提供するため、市のホームページにデータを掲載した。</li> <li>地域予算事業では地域発意による取組等に充当したが、コロナウイルスの影響により活動も自粛傾向にあり、支出額は前年度から下回った。</li> </ul> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 改善)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自然と文化の森プラットフォームでは、自然と文化の森協会を中心に、今後の自然と文化の森構想の推進を見据えて、プラットフォームの在り方等について協議等を行い、令和3年度中に新たな取組方法による実施を目指す。</li> <li>ウェルカムパーティ事業では、コロナ禍では乳幼児がいる家庭において外出を控える傾向にあり、事業への参加や地域とのつながりを継続することが難しいことから、実施手法や在り方を含め、事業の再構築に取り組む。</li> <li>地域予算事業では、引き続き、地域発意による取組への支援や地域の交流の場づくりなどに活用していくとともに、コロナ禍を踏まえた効果的な活用についても検討していく。</li> <li>地域との関係性が深められてきたことで創出された各地域の特徴ある取組がまとめられた事例集を用いるなど、庁内及び地域住民との好事例の共有を図り、活用していく。</li> </ul>										

## ③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	(参考)令和3年度予算	備考
事業費 A	456	239	0	
報償費	153	3		講師謝礼等
需用費	303	229		事業用消耗品費等
役務費		7		事業参加者用保険
人件費 B	23,120	21,164	0	令和3年度から園田地区学びと活動推進事業費へ移管
職員人工数	2.88	2.70		
職員人件費	21,861	20,445		
嘱託等人件費	1,259	719		
合計 C(A+B)	23,576	21,403	0	
Cの財源内訳				
国庫・県支出金				
市債				
その他	250			市民福祉振興基金
一般財源	23,326	21,403		

# 令和3年度事務事業シート(令和2年度決算)

事務事業名	コミュニティ助成事業費	1E1D	施策	01 地域コミュニティ	
根拠法令	コミュニティ助成事業実施要綱		展開方向	01-2 地域活動の促進により、安全・安心で魅力的な地域社会の形成に取り組みます。	
事業分類	補助金・助成金	事業開始年度			—
会計	01 一般会計		行政の取組	01-2-1 地域コミュニティの形成のための支援	
款	10 総務費				
項	05 総務管理費				
目	61 市民活動推進費				
局	総合政策局	課	中央地域課、小田地域課、大庄地域課、立花地域課、武庫地域課、園田地域課	所属長名	北 明德、仁尾 克己、鳥生 浩二、奥平 裕久、富田 聡一郎、松原 裕二

## ①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	(一財)自治総合センターが行う宝くじの社会貢献広報事業による助成金(コミュニティ助成事業)を活用した、地域の活性化と住民のコミュニティ意識の醸成を図るための補助事業であり、補助金交付決定団体に対して補助金を交付する。
事業概要	地域の活性化と住民のコミュニティ意識の醸成を図ることを目的とする宝くじの社会貢献広報事業による助成金を活用し、自治会等が行うコミュニティ活動に必要な設備等の整備に対して補助を行う。
実施内容	<p>○中央地域課 北竹谷社会福祉連絡協議会が地域交流事業を実施する際に使用する和太鼓の整備費用に対して補助を行った。和太鼓クラブ「竹谷っ鼓」は、竹谷小学校5・6年生の児童で構成しており、竹谷地区で開催される節分祭などのイベントに出演している。和太鼓やバチが経年劣化している上、所有している太鼓の種類が少なく活動や演奏に支障が出ている状態であったため助成を行った。 補助金交付額: 2,500,000円</p> <p>○大庄地域課 大庄西社会福祉連絡協議会が実施する「大庄西地区秋祭り 子供地車の修復整備事業」に対する補助を行った。昭和初期に本市内で製作され現存する数少ない地車の一つで、老朽化が著しい大庄西地区の子ども地車を安全・安心に引けるようにすることにより、地域の貴重な伝統文化資源の活用と健全で活気のあるコミュニティの形成を目的とする地車修復整備事業への助成を行った。 補助金交付額: 2,500,000円</p>

## ②事業成果の点検

目標指標	申請件数(適切な成果指標及びその目標設定が困難なため、活動指標の実績値のみを表記)							単位	件		
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	平成30年度	3	令和元年度	2	令和2年度	6
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: — )</p> <p>○中央地域課 和太鼓やバチを新調し、これまで所有していなかった種類の和太鼓を購入できたことにより、演奏できる曲の幅が広がり、地域の行事等で披露する機会が増加した。和太鼓演奏を通じて、地域住民が伝統文化に親しみながら交流を図る良い機会となった。</p> <p>○大庄地域課 事業実施により、子どもたちが安全かつ安心して地車を引く事ができるようになり、また、貴重な地域文化資源の次代への継承ができるようになった。さらには、地車をさまざまな地域交流事業へ活用できるようになり今後一層の地域コミュニティ活動活性化と地域の伝統文化の継承につながる契機となった。</p> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持) 各種広報や各地域振興センターを通じ、自治会等に本事業の周知を行っていくとともに、地域担当職員が地域の様々な主体と顔の見える関係づくりを進める中で、本助成事業を必要とする団体へとつないでいく。</p>										

## ③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	(参考)令和3年度予算	備考
事業費 A	2,500	5,000	2,500	
負担金補助及び交付金	2,500	5,000	2,500	コミュニティ助成事業補助金
人件費 B	719	1,186	849	
職員人工数	0.11	0.17	0.11	
職員人件費	719	1,186	849	
嘱託等人件費				
合計 C(A+B)	3,219	6,186	3,349	
Cの財源内訳				
国庫・県支出金				
市債				
その他	2,500	5,000	2,500	コミュニティ助成収入
一般財源	719	1,186	849	

# 令和3年度事務事業シート(令和2年度決算)

事務事業名	車座集会事業費	1E1F	施策	01 地域コミュニティ
根拠法令	—		展開方向	01-2 地域活動の促進により、安全・安心で魅力的な地域社会の形成に取り組みます。
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 平成15年度	行政の取組	01-2-1 地域コミュニティの形成のための支援
会計	01 一般会計			
款	10 総務費			
項	05 総務管理費			
目	61 市民活動推進費			
局	総合政策局	課 協働推進課	所属長名	西田 真弓

## ①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	市民(市内在住、在勤、在学者)と市長が直接対話する機会を持つことで、市民と行政の相互理解を図るとともに、市民参加のまちづくりを積極的に進めることを目的としている。																								
事業概要	市民の市政への関心を高めるとともに、まちづくりに関する情報の共有化を推進するため、市民と市長が直接意見交換を行う。																								
実施内容	<p>1 実施手法 次の3つの手法で実施 ①「フリートーク型」: テーマ、対象者を特定せず参加者を公募 ②「テーマ型」: テーマを設定した上で参加者を公募又は指名 ③「ターゲット型」: 対象者を特定して参加者を公募又は指名</p> <p>2 令和2年度実施実績 新型コロナウイルス感染症拡大により未実施</p> <p>3 過去の実施結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①フリートーク型</td> <td>0回</td> <td>1回</td> <td>0回</td> </tr> <tr> <td>②テーマ型</td> <td>0回</td> <td>2回</td> <td>0回</td> </tr> <tr> <td>③ターゲット型</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>0回</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1回</td> <td>4回</td> <td>0回</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>9人</td> <td>70人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table>	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	①フリートーク型	0回	1回	0回	②テーマ型	0回	2回	0回	③ターゲット型	1回	1回	0回	計	1回	4回	0回	参加人数	9人	70人	0人
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度																						
①フリートーク型	0回	1回	0回																						
②テーマ型	0回	2回	0回																						
③ターゲット型	1回	1回	0回																						
計	1回	4回	0回																						
参加人数	9人	70人	0人																						

## ②事業成果の点検

目標指標	車座集会の参加者人数(適切な成果指標及びその目標設定が困難なため、活動指標の実績値のみを表記)							単位	人		
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	平成30年度	9	令和元年度	70	令和2年度	0
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: —)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により実施を見合わせた。</li> <li>コロナ禍においても安心して参加できるよう、感染症対策の徹底が必要である。</li> </ul> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度は、新型コロナウイルス感染状況を踏まえながら、より幅広い層の市民に参加してもらえるよう、テーマや開催日時、開催場所を工夫して実施する予定である。</li> </ul>										

## ③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	(参考)令和3年度予算	備考
事業費 A	42	40	36	
報償費			16	手話等謝礼
需用費	40	40	11	消耗品
使用料及び賃借料	2		9	会場使用料
人件費 B	1,523	1,788	1,313	
職員人工数	0.23	0.23	0.17	
職員人件費	1,523	1,788	1,313	
嘱託等人件費				
合計 C(A+B)	1,565	1,828	1,349	
Cの財源内訳				
国庫・県支出金				
市債				
その他				
一般財源	1,565	1,828	1,349	

# 令和3年度事務事業シート(令和2年度決算)

事務事業名	市民提案制度関係事業費	1E1H	施策	01 地域コミュニティ
根拠法令	—		展開方向	01-2 地域活動の促進により、安全・安心で魅力的な地域社会の形成に取り組みます。
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 平成21年度	行政の取組	01-2-1 地域コミュニティの形成のための支援
会計	01 一般会計			
款	10 総務費			
項	05 総務管理費			
目	61 市民活動推進費			
局	総合政策局	課	協働推進課	所属長名 西田 真弓

## ①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	行政と市民等が、課題や目標を共有しながら、それぞれの特性を生かして役割を担い、補い合いながら、より良いまちづくりに取り組むために、市民参加・参画の機会の充実を図り、協働のまちづくりを推進する。
事業概要	民間団体からの提案に基づき、市の事業の提案者への委託や、新たな取組のモデル実施への補助等を行い、地域課題等の解決や市の事業の効果的・効率的な実施を図る。この取組を通して、民間団体の市政参画の推進及び政策提案機会の拡大等を図るとともに、行政との相互理解を深め、適切で良好なパートナーシップを築き、協働の取組を推進する。 ※提案型事業委託制度(平成25年度～令和元年度)、提案型協働事業制度(平成21年度～令和元年度)の2事業を統合し、制度改善を図ったもの。
実施内容	募集から実施までの大まかな流れは、次のとおりである。 ①例年5月から6月末にかけて提案の募集を行う。 ②制度所管課による提案者へのヒアリング、所管課への説明を経て、制度所管課・提案者・所管課による三者協議を行う。 ③提案者と所管課によって実施内容の詳細を検討する。 ④例年10月に「市民提案事業審査会」において提案内容の審査を行い、採否を決定する。 ⑤採択された事業に係る予算要求を経て、提案の翌年度から実施する。

## ②事業成果の点検

目標指標	市民提案制度の応募団体数(累計)(R1までは旧市民提案型制度の実績)(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)							単位	団体	
目標・実績	目標値	79	達成年度	令和4年度	平成30年度	47	令和元年度	50	令和2年度	62
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: —)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12団体から14事業の提案を得た。うち、2事業が協働事業として採択されたほか、委託及び補助に依らない連携の取組が3事業生まれた。</li> <li>・職員一人ひとりが、協働の意識をより強く持ち、積極的に協働の取組を推進していくためには、引き続き丁寧なコーディネートを行うほか、職員側の協働の取組のアイデアも尊重されることが必要である。また、採択事業等が良好な協働関係の下に継続されるよう、庁内に対するフォローを行っていく必要がある。</li> </ul> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・制度の魅力を積極的にPRし、かつ、丁寧に効果的な制度運用に取り組む。</li> <li>・学びと活動の機会提供を通じた制度活用促進については、関係部局とも連携しつつ、令和2年度に本制度を通じて提案のあった取組も含め、検討を進めていく。</li> <li>・丁寧な制度運用を行うほか、全ての職員に協働の取組のアイデアを募った上で募集要領に掲載し、これに対する提案についても募集を行う。</li> <li>・定期的に実施状況や市と提案者との関係性の把握を行うなど、採択事業のフォローに努める。</li> </ul>									

## ③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	(参考)令和3年度予算	備考
事業費 A	303	236	706	
報償費	50	120	70	事業実施前研修講師謝礼
需用費	72	47	35	消耗品費等
使用料及び賃借料	1		1	制度説明会会場使用料
負担金補助及び交付金	180	69	600	協働事業補助金
人件費 B	4,934	9,367	9,112	
職員人工数	0.63	1.24	1.18	
職員人件費	4,934	9,367	9,112	
嘱託等人件費				
合計 C(A+B)	5,237	9,603	9,818	
Cの財源内訳				
国庫・県支出金				
市債				
その他				
一般財源	5,237	9,603	9,818	

# 令和3年度事務事業シート(令和2年度決算)

事務事業名	市民運動推進事業費	1E1M	施策	01 地域コミュニティ	
根拠法令	尼崎市民の暮らしの安全を推進する条例等		展開方向	01-2 地域活動の促進により、安全・安心で魅力的な地域社会の形成に取り組みます。	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度			昭和38年度
会計	01 一般会計		行政の取組	01-2-1 地域コミュニティの形成のための支援	
款	10 総務費				
項	05 総務管理費				
目	61 市民活動推進費				
局	総合政策局	課	協働推進課、中央地域課、小田地域課、大庄地域課、立花地域課、武庫地域課、園田地域課	所属長名	西田 真弓、北 明德、仁尾 克己、鳥生 浩二、奥平 裕久、富田 聡一郎、松原 裕二

## ①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	生活環境を改善し、住み良いまちづくりを促進するために、そこに住み・集い・働く人々が、わがまち意識を持ち、自発的に事業に参加する状態を目指すもの。
事業概要	市民の創意と参加によって明るく住み良く豊かなまちを目指すため、市民運動を総合的に推進し、尼崎市民の暮らしの安全を推進する条例をもとに、市民運動推進委員会、市民運動各地区推進協議会事業への支援及び10万人わがまちクリーン運動を実施する。
実施内容	<p>1 市民運動推進委員会総会(決算額:71千円 需用費等) 当該委員会は、市長と構成団体から選出された1名が共同代表を務め、各地区推進協議会、各種団体・関係行政機関72団体、学識経験者2名で構成し、市民の創意と参加により明るく住みよく豊かなまちを目指し、市民運動を総合的に推進する。 【令和2年度総会実績】開催日:令和2年7月30日(木) 場所:小田北生涯学習プラザ 出席者数:41人</p> <p>2 市民運動各地区推進協議会事業補助(決算額:3,773千円 予算額:@1,200千円×6地区) 市民運動を効果的に推進するため、地域の各種団体で構成されている市民運動各地区推進協議会が実施する事業に対して補助する。</p> <p>3 10万人わがまちクリーン運動(決算額:124千円 需用費) 市制80周年を契機に、市・市民・事業者が一体となり取り組んだ、全市一斉クリーン運動とクリーン運動月間を継続して実施することにより、市民自らの手でまちの美化を推進するとともに、市民のわがまち意識の醸成を図る。 【令和2年度実績】全市一斉クリーン運動中止のため、実績なし(クリーン運動月間は実施)</p>

## ②事業成果の点検

目標指標	10万人わがまちクリーン運動参加者人数(適切な成果指標及びその目標設定が困難なため、活動指標の実績値のみを表記)				単位	人				
目標・実績	目標値	—	達成年度	— 年度	平成30年度	29,409	令和元年度	26,937	令和2年度	—
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: — )</p> <p>・令和2年度は、委員会の位置づけを再認識し、構成団体間の連携を強化していくため、次の取組を行った。 ①委員長・副委員長を廃止し共同代表・副代表を設置、②新たな役員を選任、③総会・役員会の開催頻度、実施内容、配布資料の改善、④委員会で決めた取組テーマ(自転車マナーの向上)に基づいた取組を実施 ・市民運動各地区推進協議会では、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、実施が困難な事業もあったが、工夫して実施した事業やコロナ禍だからこそ実施した事業もあり、一定の市民活動支援につながったといえる。 ・令和2年度の全市一斉クリーン運動は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としたが、クリーン運動月間は継続的に実施し、各自が自宅周辺など身近な範囲で清掃活動に取り組んだ。</p> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 改善)</p> <p>・市民運動推進委員会としては、明るく住みよくゆたかなまちを目指し、コロナ禍においても、地域や人とのつながりを絶やさないよう工夫しながら新たに設定した取組テーマに沿って全市一体となって取り組んでいく。 ・クリーン運動についても、市民自らの手でまちの美化を推進していくため、コロナ禍においても感染症対策を徹底しながら、各地域の可能な範囲で取り組んでいく。</p>									

## ③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	(参考)令和3年度予算	備考
事業費 A	7,868	3,968	8,057	
需用費	182	192	206	クリーン運動用ゴミ袋等
委託料	483		640	クリーン運動収集委託
使用料及び賃借料	3	3	11	総会等会場使用料
負担金補助及び交付金	7,200	3,773	7,200	事業補助金
人件費 B	4,795	4,353	4,324	
職員人工数	0.63	0.56	0.56	
職員人件費	4,795	4,353	4,324	
嘱託等人件費				
合計 C(A+B)	12,663	8,321	12,381	
Cの財源内訳				
国庫・県支出金				
市債				
その他	7,375	3,786	7,200	市町村振興協会市町交付金
一般財源	5,288	4,535	5,181	

# 令和3年度事務事業シート(令和2年度決算)

事務事業名	市民活動情報発信事業費	1E10	施策	01 地域コミュニティ
根拠法令	—		展開方向	01-2 地域活動の促進により、安全・安心で魅力的な地域社会の形成に取り組みます。
事業分類	ソフト事業	事業開始年度		
会計	01 一般会計		行政の取組	01-2-1 地域コミュニティの形成のための支援
款	10 総務費			
項	05 総務管理費			
目	61 市民活動推進費			

局	総合政策局	課	協働推進課	所属長名	西田 真弓
---	-------	---	-------	------	-------

## ①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	協働のまちづくりを推進するため、様々な段階での市民参加・参画の機会の充実を図る。 市民・事業者・行政が、課題や目標を共有しながら、それぞれが持つ特長を生かした役割を担い、補い合いながら、よりよいまちづくり、地域づくりに取り組んでいる状態を目指すもの。					
事業概要	「協働のまちづくりの基本方向～きょうDOガイドライン～」(平成19年7月策定、平成26年3月改訂)に基づき、SNSなどを活用して市民活動団体の情報や様々な事業の情報を収集し、市民活動ポータルサイト「市民活動の広場あまがさき」を介して市民へ発信していく。					
実施内容	1 事業内容 インターネット上での市民活動の総合窓口「市民活動の広場あまがさき」を開設し、市民活動団体の情報や様々な事業に関する情報の収集・発信を行っている。平成23、24年度に提案型協働事業として試行的に実施(提案団体に補助金を交付し、協働で運営)し、平成30年度からは、業務委託により運営を行っている。					
	2 事業実績					
		年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	平均月間アクセス数	2,103	2,866	2,715	2,185	744
	平均月間イベントカレンダー掲載事業数	205	211	209	237	109

## ②事業成果の点検

目標指標	市民活動ポータルサイト平均月間アクセス数(適切な成果指標及びその目標設定が困難なため、活動指標の実績値のみを表記)						単位	件			
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	平成30年度	2,715	令和元年度	2,185	令和2年度	744
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況: — ) ・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大による地域イベント等の中止により、イベント掲載数は減少した。 ・7月にセキュリティの脆弱性が見つかったため、令和2年9月から11月の間で、セキュリティ強化のためのサイト改修を行った。 ・今後は、サイトへのアクセス数やイベント掲載件数を増やすため、情報発信の方法を工夫していく必要がある。										
	【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持) ・本サイトを効果的に運用するため、「みんなの尼崎大学授業検索ページ」との一元化により、市民の情報収集の利便性向上を図る。 ・ホームページやチラシのほか、市報の「市民活動の広場」等により市民活動ポータルサイトの周知を図る。										

## ③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	(参考)令和3年度予算	備考
事業費 A	427	771	578	
委託料	427	771	578	サイト運營業務委託
人件費 B	1,723	2,507	2,625	
職員人工数	0.22	0.34	0.34	
職員人件費	1,723	2,507	2,625	
嘱託等人件費				
合計 C(A+B)	2,150	3,278	3,203	
Cの財源内訳				
国庫・県支出金				
市債				
その他				
一般財源	2,150	3,278	3,203	

# 令和3年度事務事業シート(令和2年度決算)

事務事業名	あまがさきチャレンジまちづくり事業費	1EIP	施策	01 地域コミュニティ
根拠法令	あまがさきチャレンジまちづくり事業補助金交付要綱		展開方向	01-2 地域活動の促進により、安全・安心で魅力的な地域社会の形成に取り組みます。
事業分類	補助金・助成金	事業開始年度 平成17年度		
会計	01 一般会計		行政の取組	01-2-1 地域コミュニティの形成のための支援
款	10 総務費			
項	05 総務管理費			
目	61 市民活動推進費			

局	総合政策局	課	協働推進課、中央地域課、小田地域課、大庄地域課、立花地域課、武庫地域課、園田地域課	所属長名	西田 真弓、北 明德、仁尾 克己、鳥生 浩二、奥平 裕久、富田 聡一郎、松原 裕二
---	-------	---	---	------	---

## ①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	地域で活動する団体・グループが自立して活動できるよう支援を行うことにより地域活動の活性化を図り、協働のまちづくりを推進する。
事業概要	「地域をよりよくするため市民自ら考え、力を合わせて実施する活動」で公益的なものに対し補助を行うことにより地域社会の連帯を深め、まちづくりの推進を図る。
実施内容	<p>地域の課題解決に向けて、市民主体の団体が取り組む公益的な事業について支援を行う。</p> <p>1 地域コミュニティ活動支援事業補助(補助金交付額2,524千円(決算額2,015千円)31事業申請、31事業採択) ・対象事業:市内1地区で行う公益的な事業 補助金額:補助対象経費の8/10以内、上限10万円</p> <p>2 あまらぶチャレンジ事業補助(補助金交付額930千円(決算額930千円)5事業申請、4事業採択) ・対象事業:2つ以上の地区にまたがって行う公益的な事業 ・補助金額:1年目 上限30万円(補助対象経費の10/10以内)、2年目 上限15万円(補助対象経費の5/10以内)、3年目 上限9万円(補助対象経費の3/10以内)</p> <p>3 あまらぶチャレンジ事業ジュニアコース(補助金交付額346千円(決算額162千円)10事業申請、10事業採択) ・対象事業:市内の高校生グループが行う公益的な事業 補助金額:補助対象経費の10/10以内、上限5万円</p> <p>4 地域活動支援コーディネーター事業(活動実績:計42回(報償費5,000円/回)) 地域コミュニティ活動に知識と経験を有するコーディネーター(公益団体代表等)を地域へ派遣し、地域振興センターと連携して活動団体等へ指導・助言を行うとともに、活動団体間のネットワークの形成を図る。</p>

## ②事業成果の点検

目標指標	申請団体数(地域コミュニティ活動支援事業補助、あまらぶチャレンジ事業補助) (適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)						単位	団体		
目標・実績	目標値	55	達成年度	令和4年度	平成30年度	49	令和元年度	57	令和2年度	46
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成)</p> <p>・令和元年度と比べるとあまらぶチャレンジ事業補助(ジュニアコース含む)の申請団体数は横ばい、地域コミュニティ活動支援事業補助の申請団体は新型コロナウイルス感染症の影響等により11団体減少した。</p> <p>・あまらぶチャレンジ事業補助は、継続年数によって補助割合を変動させることで、市民団体を育成し、事業の自立を促す制度に見直しを行った。また、地域コミュニティ活動支援事業補助については、応募団体の固定化等の課題を踏まえ、申請年数の上限を設けるよう見直しを行った。</p> <p>・地域活動支援コーディネーターをより活用してもらえるよう新たに7人を選任するとともに、活動内容を地域振興センターに再度周知したこと等により、令和元年度に比べ派遣回数が増加した。</p> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <p>・あまがさきまちづくりチャレンジ事業については、補助期間終了後も事業が継続できるよう、地域担当職員等が寄り添い、助言等も併せて行っていく。</p> <p>・様々な地域活動を支援してもらえるよう、地域活動支援コーディネーターの活動内容を周知していく。</p>									

## ③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	(参考)令和3年度予算	備考
事業費 A	4,766	3,778	6,388	
報償費	415	545	625	地域活動コーディネーター報償費等
需用費	76	73	70	浄書印刷等
負担金補助及び交付金	4,222	3,106	5,610	
使用料及び賃借料	17	19	43	ワークショップ会場費等
その他	36	35	40	あまらぶジュニア保険料等
人件費 B	10,280	11,387	10,314	
職員人工数	1.29	1.50	1.37	
職員人件費	9,965	11,387	10,314	
嘱託等人件費	315			
合計 C(A+B)	15,046	15,165	16,702	
Cの財源内訳				
国庫・県支出金				
市債				
その他	1,825	1,764	2,000	市町村振興協会市町交付金
一般財源	13,221	13,401	14,702	

# 令和3年度事務事業シート(令和2年度決算)

事務事業名	尼崎市社会福祉協議会補助金	1E1W	施策	01 地域コミュニティ	
根拠法令	尼崎市社会福祉法人助成条例第4条		展開方向	01-2 地域活動の促進により、安全・安心で魅力的な地域社会の形成に取り組みます。	
事業分類	補助金・助成金	事業開始年度			昭和26年度
会計	01 一般会計		行政の取組	01-2-1 地域コミュニティの形成のための支援	
款	10 総務費				
項	05 総務管理費				
目	61 市民活動推進費				
局	総合政策局	課	協働推進課	所属長名	西田 真弓

## ①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	尼崎市社会福祉協議会(市社協)は本市における地域福祉、地域自治の担い手として、重要な役割を果たしており、市が支援することで経営基盤を安定させ活動の充実を図ることにより、地域福祉、地域自治のより一層の推進を目指す。		
事業概要	地域コミュニティ活動及び地域福祉活動の推進を図るため、市社協に補助金を交付し、自主財源に乏しい本部、支部社協の運営を側面的に支援するとともに、社会福祉連絡協議会(連協)、福祉協会(単組)の活動を助成する。		
実施内容	<p>市社協が次の事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市社協本部 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市及び支部社協・連協・単組の事業等の連絡調整・とりまとめ・加入促進に取り組む。</li> <li>・社協会館の移転に向けた設計業務委託の実施</li> </ul> </li> <li>○各支部、連協共通事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種委員推薦等</li> <li>・日赤社資募集事業</li> <li>・共同募金、ともしびの箱募金</li> <li>・チューリップ運動</li> <li>・広域コミュニティ活動</li> <li>・広域福祉活動</li> <li>・緊急通報事業への協力</li> </ul> </li> <li>○支部 <ul style="list-style-type: none"> <li>・善意銀行支店業務</li> <li>・老人給食グループの活動支援</li> <li>・地域高齢者福祉推進事業の企画実施、活動支援</li> <li>・高齢者等見守り事業への活動支援</li> <li>・婦人会、老人クラブ、遺族会等の事務局</li> </ul> </li> <li>○連協 <ul style="list-style-type: none"> <li>・老人給食事業</li> <li>・市民運動事業の地区内とりまとめ</li> </ul> </li> <li>○単組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種委員推薦等への協力</li> <li>・コミュニティ活動の企画実施</li> <li>・福祉活動の企画実施</li> <li>・日赤社資募集事業への協力</li> <li>・チューリップ運動への協力</li> </ul> </li> </ul>		

## ②事業成果の点検

目標指標	社会福祉協議会の加入率(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)						単位	%		
目標・実績	目標値	60.0	達成年度	令和4年度	平成30年度	50.9	令和元年度	49.3	令和2年度	47.4
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: やや達成できず)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市社協は、これまでから、様々なふれあい型サービス事業等を実施しており、また、新しいコミュニティの形成においても欠かせない、本市において重要な役割を果たしている住民組織であると評価している。</li> <li>・加入率は減少傾向となっているが、市内への転入者に対し市社協の案内チラシを配布しているなど、加入促進の取組を継続して行っている。</li> <li>・加入率については、市社協の未加入世帯や、単組のない地区等に対する情報発信、地域コミュニティの活性化などが課題となっている。</li> </ul> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市社協や自治会等の活動を担う住民の高齢化や担い手が不足する中、地域コミュニティの活性化に向けて、各地域に応じた地域活動の情報誌や加入促進のチラシなどの広報物を市社協と連携して作成・配布を行う。</li> <li>・移転先施設の改修工事実施年度の変更を受け、令和4年度となった移転に向けて引き続き調整を行う。</li> </ul>									

## ③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	(参考)令和3年度予算	備考
事業費 A	114,397	121,667	302,476	令和2年度は移転先施設の設計費用、令和3年度は整備工事費用が含まれている。
負担金補助及び交付金	114,397	121,667	302,476	
人件費 B	4,464	3,498	4,324	
職員人工数	0.57	0.45	0.56	
職員人件費	4,464	3,498	4,324	
嘱託等人件費				
合計 C(A+B)	118,861	125,165	306,800	
Cの財源内訳				
国庫・県支出金				
市債		4,600	148,900	
その他				
一般財源	118,861	120,565	157,900	

# 令和3年度事務事業シート(令和2年度決算)

事務事業名	特定非営利活動促進事業費	1E23	施策	01 地域コミュニティ	
根拠法令	特定非営利活動促進事業補助金交付要綱		展開方向	01-2 地域活動の促進により、安全・安心で魅力的な地域社会の形成に取り組みます。	
事業分類	補助金・助成金	事業開始年度 令和2年度			
会計	01 一般会計		行政の取組	01-2-1 地域コミュニティの形成のための支援	
款	10 総務費				
項	05 総務管理費				
目	61 市民活動推進費				
局	総合政策局	課	協働推進課	所属長名	西田 真弓

## ①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	市内におけるNPO法人の社会貢献、地域の課題解決や魅力向上に資する取組の促進を目指す。				
事業概要	NPO法人が行う特定非営利活動事業に共感し、応援を行いたいと思われた市民や事業者から寄せられた寄付金の範囲内の額を、特定非営利活動の促進のため、市がNPO法人に交付する。				
実施内容	地域の課題解決に向けて、市民主体の団体が取り組む公益的な事業について支援を行う。 ・主たる効果が尼崎市内で生じる、または、主に尼崎市民を対象とした公益的な事業を行うNPO法人に対し、市民等からの寄付金額を上限に交付する。 ・令和2年度に限り、新型コロナウイルス感染症により様々な困難に直面する人たちの支援を行う事業も対象とした。 ・寄付金の年度間調整を行うために、特定非営利活動促進基金を設置した。				
	令和2年度実績				
	NPO法人分				
	採択事業数	事業申請額	寄付件数	寄付金額	交付金額
10事業	23,598千円	170件	3,470千円	2,457千円	
新型コロナ関係(市民活動団体)分 令和2年度に限り実施					
採択事業数	事業申請額	寄付件数	寄付金額	交付金額	
3事業	1,084千円	28件	1,020千円	1,020千円	
※交付金額を超過した寄付金額は、翌年度以降の活用を予定している。					

## ②事業成果の点検

目標指標	申請団体数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)					単位	団体			
目標・実績	目標値	35	達成年度	令和4年度	平成30年度	—	令和元年度	—	令和2年度	10
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況: 下回った) ・活用団体から「活動を新しく知ってもらいきっかけとなった」など肯定的な意見があるほか、NPO法人10団体の事業について、170件3,470千円の寄付が集まり、新たな寄付者へのつなぎ、資金の確保に繋がった。 ・NPO法人の事業によって寄付件数や寄付金額に差が生じている。またNPO法人が様々な人とつながり、活動が活性化していくよう、さらに多くの市内NPO法人が活用する必要がある。									
	【今後の取組方針】(事業の方向性: 改善) ・令和2年度実施団体の事業及び寄付金広報手法等について情報共有を行うことや、各NPO法人へ直接制度案内チラシを送付するなどの広報を行う。また、令和3年度中にクラウドファンディングも実施できるよう検討を行う。									

## ③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	(参考)令和3年度予算	備考
事業費 A	0	3,489	3,762	
負担金補助及び交付金		3,477	3,750	特定非営利活動促進事業補助
需用費		12	12	消耗品費
人件費 B	0	2,176	3,475	
職員人工数		0.28	0.45	
職員人件費		2,176	3,475	
嘱託等人件費				
合計 C(A+B)	0	5,665	7,237	
Cの財源内訳				
国庫・県支出金				
市債				
その他		3,477	3,750	特定非営利活動促進基金繰入金
一般財源		2,188	3,487	

# 令和3年度事務事業シート(令和2年度決算)

事務事業名	みんなの尼崎大学事業費	1E11	施策	01 地域コミュニティ
根拠法令	—		展開方向	01-2 地域活動の促進により、安全・安心で魅力的な地域社会の形成に取り組みます。
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 平成26年度	行政の取組	01-2-2 地域コミュニティ活動を担う人材の育成
会計	01 一般会計			
款	10 総務費			
項	05 総務管理費			
目	61 市民活動推進費			
局	総合政策局	課 生涯、学習！推進課	所属長名	寺沢 元芳

## ①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	地域活動を担う“人づくり”に向け、みんなの尼崎大学がプラットフォームとなり、市民の主体的な学習や活動を支援することにより、学びを通じて地域や社会に興味を抱き、学びの成果を活動に活かすことのできる環境づくりに取り組む。また若年層を中心に、身近な地域への愛着や主体的な地域への関わりといったシチズンシップを育てる。
事業概要	学びを通じて地域や社会に興味を抱く、また、学びの成果を活動に活かすことのできる環境づくりを進める。
実施内容	<p>1 みんなの尼崎大学事業費 市内の学びの場をめぐりつなぐ「オープンキャンパス」(94人)、まちで活動したい人の相談・交流の場「みんなの相談室」(526人)により、市民の学びと活動のステップアップをサポートしたほか、学びの成果を生かす活動の場として「みんなのサマーセミナー」の企画運営を実行委員会と共に進めた。また、あまがさき・ひと咲きプラザ内の利用者、職員の関係作りを目的として、DIYを通じた交流の場を持ち、関係性を構築した(245人)。</p> <p>コロナ禍においても学びの機会や人とのつながりの場を絶やさないよう、人権や依存症をテーマとするオンラインゼミの開催(126人)や、「初めてのZoom講座」、「YouTubeチャンネル開設」などを行った。対面での取組が制限される中でも、まちの課題解決を疑似体験するカードゲーム「ATTF2」の動画作成等で工夫を施し、啓発をした。</p> <p>その他、開学3年を迎えたみんなの尼崎大学を振り返るアンケートを実施したほか、学生証の発行、ウェブサイト・FB・メルマガ等の情報発信を行った。</p> <p>2 インターネット活用事業費 「みんなの尼崎大学授業検索ページ」は、市民活動ポータルサイト「市民活動の広場あまがさき」と統合し、市民の情報収集の利便性向上につなげた。</p>

## ②事業成果の点検

目標指標	地域活動の中で生涯学習の成果が生かしていると感じる市民の割合	単位	%										
目標・実績	<table border="1"> <tr> <td>目標値</td> <td>6.4</td> <td>達成年度</td> <td>令和4年度</td> <td>平成30年度</td> <td>3.8</td> <td>令和元年度</td> <td>3.2</td> <td>令和2年度</td> <td>3.7</td> </tr> </table>	目標値	6.4	達成年度	令和4年度	平成30年度	3.8	令和元年度	3.2	令和2年度	3.7		
目標値	6.4	達成年度	令和4年度	平成30年度	3.8	令和元年度	3.2	令和2年度	3.7				
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況： 下回った)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「みんなの相談室」を生涯学習プラザでも開催し、中央、立花、武庫地区で同様の交流・相談の場が広がった。市民だけでなく市内向けの「みんなの相談室」など活動の幅を広げたことで、道路維持や人権・平和をテーマにした共催事業が生まれた。こうした事例を増やし発信していくことで、取組に関わる人のすそ野を広げていく必要がある。</li> <li>・「みんなのサマーセミナー」は現地開催が中止となったが、オンラインによる企画を継続的に展開している。</li> <li>・アンケートでは、尼崎大学に関わった人は地域活動を行う意欲が高まったとの結果を得たとともに、今後の活動の在り方等について議論を深めた。</li> </ul> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性： 改善)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなの尼崎大学が、多彩な人や多様な活動のプラットフォームとして、また学びの中核的な機能が発揮できるよう、今年度は特に、地域住民や各地域振興センターとの連携において人権や福祉をテーマとした取組を意識して進めていく。</li> <li>・引き続き、「みんなの相談室」などみんなの尼崎大学に関わる人のすそ野を広げる取組により、地域住民との共催事例を蓄積し、シチズンシップと職員の協働意識の向上に資するよう積極的に取り組んでいく。また、全庁的にも、地域担当職員やみんなの尼崎大学などが行った協働事例を報告するなど、求められる職員の動きをより具体的にイメージできるような共有の機会を設ける。</li> <li>・「ATTF2」については作成した動画を活用するなど、引き続きまちの課題解決を考える機会づくりを進める。</li> </ul>												

## ③事業費

(単位:千円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	(参考)令和3年度予算	備考
事業費 A	9,930	8,108	5,921	
報償費	60	27	0	講師謝礼
需用費	529	272	272	消耗品費・印刷費
委託料	6,326	5,101	5,101	みんなの尼崎大学支援業務委託
使用料及び賃借料	2,626	2,650	0	授業検索ページシステム利用料
その他	389	58	548	みんなのサマーセミナー負担金等
人件費 B	22,314	22,653	22,784	
職員人工数	2.60	2.61	2.60	
職員人件費	20,363	20,288	20,077	
嘱託等人件費	1,951	2,365	2,707	
合計 C(A+B)	32,244	30,761	28,705	
Cの財源内訳				
国庫・県支出金				
市債				
その他				
一般財源	32,244	30,761	28,705	

(このページは白紙です)